競技上の注意事項について

- 1 本大会は、平成27年度(公財)日本バドミントン協会競技規則並びに大会運営規程に基づき実施します。ポイントは北信越大会に合わせ減点し15点とします。スコアが14点オールになった場合には、その後に2点リードしたサイドをそのゲームでの勝者とします。スコアが20点オールになった場合には、21点目を得点したサイドをそのゲームでの勝者とします。
- 2 試合順序は、複・単・複の順で行います。
- 3 各ゲームの間に60秒以内、ゲーム途中のインターバルは、最初に8点を取ったときのみ、60秒以内のインターバルを認めます。
- 4 リーグ戦はすべての試合を行いますが、トーナメント戦は、勝敗決定後の試合は打ち切りとします。予選リーグでの勝敗決定後の選手の変更は可としますが、変更後の試合も予選リーグの成績に反映するものとします。変更する際は、審判員・相手チームに申し出てください。
- 5 ブロックのリーグ戦の順位決定は、勝敗数の順により決定します。ただし、勝敗が同数の場合は、①勝ち数の多いチーム、②取得ゲーム率の高いチーム、③取得得点率の高いチーム、④その他の方法、の順で決定します。
- 6 6年生女子は、合同チームが上位3位に入っても、北信越大会にはでられません。5年生男子は、佐渡ジュニアが1位、プログレス・豊栄・つばさ合同チームが2位で決定しています。
- 7 試合はタイムテーブルどおりに行います。指定されたコートでの試合となりますが、試合の進行によっては試合時間が早くなる場合があります。また、コートを変更して行う場合がありますので、会場から離れないでください。
- 8 ベンチに入ることができる者は、1試合に2名までです。登録されていない監督・コーチがベンチに入ってもかまいません。決勝トーナメントでコートを開いて行なう場合は1コートつき2名まで入れるものとします。
- 9 競技中の選手に対してのアドバイスは、正規ルールどおりとしますが、試合の進行の妨げになるようなアドバイスは禁止します。
- 10 汗拭き、水分補給などのため、選手がコートを離れる場合は、主審の許可を得なければなりません。選手に指導ください。
- 11 コートサイドへ持参する水分補給用の容器は、倒れてもこぼれないものを使用してください。
- 12 審判については、代表者会議で説明しますので、その指示に従ってください。

その他の注意事項について

- 1 競技中の服装は、(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とし、背面には「チーム名、氏名」のみを表示。ゼッケンは4点留めとすること。合同チームの場合でも、ゼッケンは所属チームの物がかまいません。(オープン試合のため)
- 2 持ち物は、各自で責任を持って管理・保管してください。紛失、破損等の事故があっても主催者は責任を負いません。
- 3 競技中の事故については、主催者は責任を負いません。
- 4 ゴミは原則として持ち帰ってください。
- 5 ロビーや通路での練習(素振り・シャトル打)は絶対にしないでください。
- 6 競技中のフラッシュ撮影は、プレーの妨げとなりますので禁止します。
- 7 選手に、内履き・外履きの区別をはっきりするように指導してください。